

お彼岸も終わり少しずつ暖かくなり、動きやすい季節になつてきましてね。皆様は今年度は何を目標としていますか。

春の太陽と風は、私達に新たな出発を促します。「今年は何を植えようかな?」、「どんな風に過ごそうかな?」、「新たな門出を迎える人もいるかもしれません。」「むなしく往きて、満ちて帰る」、弘法大師が中国から帰つて来たときの言葉です。行きは不安や虚しい気持ちであつたが、帰りは満ち足りている。

弘法大師さえ不安に思う出発ですが、きっと何か得るものがあるはずです。一度きりの人生です、何事も挑戦していきたいで

「虚往実帰」

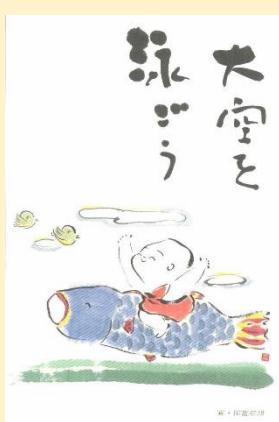
福王寺だより

すね。

ところで、百周年事業として弘法大師の修繕が本尊大日如来の造立にあわせて行われました。簡易的な補修ですが、仏師いわく剥離とめなどしているので、百年近くは大丈夫だろうと言つてくれました。完全補修ではないので、拝んだ仏様のそのままの姿で戻つてきており変化が分かりにくいかかもしれません、お彼岸と正御影供のお参りで拝めました。帰つてきて安心しております。これからも大切に拝んで行きます。

四月二十七日
午前八時三十分
於 津別町福王寺

※お寺の掃除にきてみませんか?誰でも歓迎です。きれいな境内は、お参りに来た方を快くします。皆様の力で功德をつみましょう。最初はどんなことをするのか来づらいかもしれません、各自のペースで出来ます。辛くなつたら休んでもらつても大丈夫です。是非ご参加ください!



行事のざこ案内

「春下座行」

「花まつり」

五月十七日十一時半より

於 津別町福王寺

仏教振興会の事業で、今年は福王寺です。お釈迦様のお誕生を皆さんで祝いましょう。二二時半パレード 一時半灌仏会となります。

「毘沙門天祭」（藤まつり）

六月八日 九時半より

於 津別町福王寺

福德の神、毘沙門天様のお参りを致します。

また地蔵盆も兼ねますので、お地蔵様に願い供養をいたしましょう。人形供養も行います。

（世話人さんは帳面を回しています。※七月のお参りがここに合併しております。）

福德がありますよう、お地蔵様のお力が故人に届きますよう、ご一緒に願いましょう。（キッチンカー出店やイベントも行います。）

※詳しくは別紙をご覧ください。
MAPできました是非御覧ください！！

ご連絡

「廊下・納骨堂・広間の

カーペットの張替え」

百周年を前に補修できるところは補修していきたいと思っています。カーペットですが、日焼けなどでかなり傷んでおりました。経費は270万ほどで、維持費の積立金会計を崩してこれにあてました。

現在の維持費積立金は440万円となります。他にも補修箇所がありますので、予算と相談しながら検討して進めていきたいと思います。



既存のカーペット
日焼けなどで劣化



御朱印（納経）の作成

昨年作成したロゴを使って、御朱印を作成しました。本尊さんと、毘沙門天様です。

毘沙門様は毘沙門天祭りの限定とします。



広間も色を揃えました。

納骨堂はそのまま赤で（赤は魔除けの意味もあります）、座りやすいようにすこし柔らかい素材にしました。